

海軍大臣男爵齋藤實殿

電

覽

舞鎮第一二八號

明治四十年三月二日

舞鶴鎮守府令長官男爵齋藤日高社之丞

村務

海軍大臣男爵齋藤實殿

同員

難破汽船天祐丸救助件

本月二十日電訓：依り越中國伏木濱難破

汽船天祐丸救助件：現狀調査セシメタル：該船ハ

伏木碇泊中：去二十一日午後十一時頃烈風ノ為ノ陸岸ニ

吹キ著ケテ坐洲ニタレキヨリ目下伏木燈臺ヨリ北三十

度西約三鏈陸岸ノ水深ヲ距ル約四十米突ノ位置ニアリテ

船体ハ海岸線ト殆ント並行シ右舷ヲ沖ノ向テ浸水無ク



三九

0732

船ヲ破損シ其他ノ破損ナキモノ如ク附近ノ底質砂瓦船側ノ水深  
 三尺右舷四尺干満差約一尺ニテ積荷ヲ卸シ本船ノ浮揚を喫水  
 八尺八尺ニテ即チ全長ニ亘リ平均約四尺ハ砂中ニ埋没セラレテ曳出ヲ  
 試ムル所ニ相違ノ準備ニ事ヲ施スノ必要アリ今直チニ船ヲ  
 曳出シ曳出セトスルモ到底成功ノ見込無キモノト認め船主ニ  
 於テ是等ヲ了シ自方ニテ徐口ニ事ヲ施行スル起リ有之依テ比叻  
 派遣ノ義ニ取止メ候

右報告口人

追テ現世調査ノ為メ曹進地ニ急派シテ港務部員大主尾土口ヨリ提出  
 セル別紙報告書一摺添付ノ猶船主於テ本船對シテ先九固メヲ為シ  
 曳出ニ事々著手シ又曳出受負人ニ於テ一月以内ニ曳出終ル  
 約束ヲ以テ受負人ノ管下起為右中ノ様ナリ

別冊一摺添

決

0733

明治四十二年三月一日

港務部々員 大立之尾吉

舞鶴海軍港務部長 梶川良吉殿

天祐丸救助視察報告

二月廿六日午前十一時過伏木濱、坐所七汽船天祐丸  
救助視察ノ為、舟夫長一名舟夫一名ヲ出陣トシ、  
命ヲ受ク

同日午後一時 新舞鶴駅發

0734

一 二十七日午後二時半伏木若直に遭難船現場に就視  
察し左の報告ヲ電報ス

天祐丸ノ位置燈台より北西(翌朝至約北西北北西ヲ

報者甚粗漏りしト悔三約三ヶ所ハ海圖第百二十号

於テ陸岸に接し四分三下記載セテ所ニ當リ陸岸

水際ヲ距ル約四十米突海岸線ト殆ト並行シ左

舷沖ヨリ向テ居リ浸水少シモナリ艀外破損

ナキモノハ艀底質砂左舷側ノ水深三尺左舷四

尺ヲ滿差約一尺積荷ヲ卸シ本船ノ浮ブ水深

約八尺ト間ハ八尺ノ水深迄同船ヨリ六十間

三尋半ノ所迄約三ヶ所ブルヒ着来ルモ直ク曳出

0735

心得見込付カス

一船主其他之左ノ事實實ヲ示シ且ツ告タル今直ニ之ヲ

或出サレトスルハ甚難事ナリ然レ共猶曳出シ得キ

妙案アラハ申出ラレトト蒼シ彼等ハ内心軍艦

ニテ曳カバ成ハ出ルモアハ先試シモラントノ希望

ヲ有スモハ然クナル以テ本官ハ事ノ不可能ナルヲ深ク説

明セス彼等ヲシテ自ラ之ヲ了解セシムコトニ意ヲ注

ケリ

(一) 本船右舷側水深約四尺左舷側約三尺九寸ト

(二) 本船遭難處白ノ喫水ノ前部九尺半後部十三尺

半ヲウレト

0736

遭難後坐泊状態に於て噴水の前部八尺後部

十三尺ナルコト

(一) 本船は少ナクとも五六尺砂に埋り居ルコト

(二) 本船は曳出スル船尾若くは船首の龍骨線

方向に曳出スルコト絶對的不可能ニシテ横斜ニ

曳カサルヲ得サルコト

(三) 本船は空船に浮り得る噴水の約八尺ナリト云フ此八

尺距離迄は約六十間アルコト

(四) 救助に来ル十軍艦は本船より四五百間以内ニ

迄寄リサルコト

船主其他(保険會社員等)は今晚篤ト熟議シ

0737

凝し明日御返答及ふこと云り

保険會社員及船長は左ノ間ヲ履せり

今直ニ軍艦ヲ煩ハサストセハ後日自分等ノ手ニ於テ

或ル程度迄船体ヲ振り向ケ得ル場合ニ於テ

軍艦ヲ煩ハスヲ得(ナカ)

右ニ對シ本官は左ノ意味ヲ以テ答へたり

(1) 其場合ニ於テ軍艦ヲ救助トシテ派遣セラルルヤ

否甚疑問ナリ

(2) 俾其筋ヲ於テ軍艦ヲ派遣セシメラルルニ意向見エト

スモ當時舞鶴ニ於テ状況ヲ察スルニ救助ニ未

ルニ軍艦其ノ任務ノ為ニ行動ヲ起シテ航行中

アルヤモ知レズ

い故當ニテ又モノヲ當テシテ申出申業と雖詰ツ  
来サシヨリハ今ヨリ其希望ヲ断念シテ確實員ニ  
計畫スルニ如カス云々

此夜本官寓居ノ主人柳重二郎ニ若来リ陳ヘテ曰ク  
軍艦ノ大丸曳カラ以テセハ多分船尾沖ニ向クニト思  
ハル云々蓋シ本人ハ當地ニ旣先顔役ニシテ海上ノ事情ニ付  
テモ多ク知所アリ此度軍艦ニ依頼スルニト發言  
シタルモノハ略ラク本人ノ勅ニ出シテト思ハル依テ然  
々其難事ナラズトテ事實據テ詳細説明セシ  
彼モ大ニ快ハル處アリ

0739



一 翌廿八日船主来り曰く昨夜東一同上凝議せし今軍艦  
 ノ派遣シ願フモ直ニ成却ル方法アルトモ思ヒス  
 依テ本日海軍大臣閣下及舞鶴鎮守村司令長官  
 閣下ニ對シ貴官官ヲ出張セシメタルノ謝意ヲ兼  
 又ニ軍艦派遣ノ儀見合セラレ度昔ノ電報ヲ  
 査スルニ決定セリト又保漢會社員来り  
 研究ノ結果到底軍艦ヲ煩フコトノ難事ナル  
 コトヲ知リ請員人ニ請員ニ云ル意向ナリト陳ヘリ  
 一同午前左ノ報告ヲ發電ス  
 船主ニ海軍ヲ艦船ヲ助ケ向ケラルモ直ニ曳出  
 スコトノ難事ナルコトヲ解シ其ノ筋筋於テ本官ヲ

出張セシメテ之ルニ付其ノ勤向ヒ感謝ノ意ヲ表ス  
本官ハ本日晝頃發歸ル

一又本日前左ノ電報ヲ岡野考謀ニ奉ヒ以テ昨晨  
セシ電報中粗漏ノ点アリシヲ訂正セタリ

燈台ハ本船ヨリ南三十度東

一本日午前十一時返舟夫ラシテ再ヒ水深ヲ測ラシム

一本日午前十一時三十分休木奉歸途ニ就ク船主保

険會社員其他五六名高岡驛迄見送ル

發ス時午後一時返高岡停車場ニ在リ以テ

電報來ラハ警務署ノ電報ヲ以テ知ラセシユトテ

依頼ノ旨ナリ

十二時十分故宮察署ヨリ電報来リト云ノ電報接  
 シ再ヒ伏木ニ赴キ方南報ヲ受取ル  
 天祐丸開カス報告ヲ願ス船主ハ東出方ヲ裁  
 然前ニ必要ナル防砂及掘出工事ヲ直ニ着手ス  
 積リ大ヤリ着シ着手スルハ約何日頃位ノ時日ヲ要  
 ス見込大ヤ御聞キ合セ至各電報アリ工  
 事ノ方法ニ就キテ貴官ノ意見ヲ先方ニ話セ  
 之貴官ハ何分ノ義申進允進其地ニ滞在セシ  
 船主ヲ呼ビ右ノ電報ヲ示シ本官ニ之ヲ通付言テ  
 此ノ電報ニ依リ共ニ勦テ於テ遭難者ノ救ヒ非テ  
 注意ヲ拂ヒ第一天祐丸カ現在ノ位置ニ於テ再ヒ

天候等ヲ為シ危険ニ陥ラザルニ  
 方ク為メ相留メ  
 虞無ク為サザルニカラズ其レハ  
 船主ノ心ニテハ保  
 會社員及申出諸員人等ノ力  
 其筋ニ於テ亦々知ラザル  
 以テ也感スルニトモア  
 ンレ依テ亦實ニ救留メ置  
 船主相談ニ應セシムル  
 御主亮ニ出ラズモ如ク  
 思ハ  
 船主大ニ感謝シ此ノ電報  
 之象ニ示シテハ暫時借  
 用シ願フ者申出テタル  
 以テ快ノ貸ニ與フニ  
 皆其筋ノ注意ヲ周到ニ  
 感シヨリト云フ  
 船主トモ相談シテ周野  
 參謀宛左通泰電不  
 天祐丸本日大段ヲ送り  
 来ル鋪及スルルヤニテ

0743

猶先分花園ノヲ為し成出工事に着手スル者保  
 險會社ヨリ人來リ又成出請負人ニ來し引出  
 方ニテ請負人ニ於テ一月以内ニ成出ニ然  
 約束ヲ以テ請負人ノ管救助ニ海軍ノ配慮  
 ハ船主ニ保險會社自モ充分ニ承諾シ今在官  
 歸ルモ故障ノ感々ス本官モ滿地ニ於テ障在  
 必要ヲ認メテ猶滞在スルナリ  
 一 本日四時二十分頃片電報接ス  
 前電天祐丸防砂工事等ニ停スル時日概  
 略見込ニテ宜敷キ身至急電報アリタリ  
 依テ直ニ左返電ヲ發ス

現狀ヲ見ルニ防砂工事ノ必要ナシ  
或出請員

人其他諸同意見ナリ  
本日本後六時頃念方請員人等出方ヲ請員ニテヨリ音船幸ヨリ報告ニ接ス  
一本日夜ニ又左ノ電報ヲ送付ス

天祐丸申出工事ニ関スル電報ヲ欲ス貴官  
便宜少奈滞付ナリ  
三月九日午前九時五十分迄未だ發

三月十日午午ノ帰船

左ノ貼付セル三月十日ノ高田新報ヲ切抜ナリ

0746 0745

# ▼天佑丸引卸と軍艦

天佑丸座礁に就き舞鶴鎮守府海軍工務部員大立中佐は實地調査の爲め伏木港へ來りしが今中佐の語る處を聞くに天佑丸は軍艦の保護を待つて直ちに引卸すこと困難なるべし何となれば今日軍艦としては日々多忙なる任務あり引卸の爲め派遣するに一日二日は差支なかるべしと雖も之れが爲め數日間を費す事は行動上なし能はざる處にして昨日實況の詳細を海軍省及び舞鶴鎮守府へ電報し置きたれば返電に接するならん尤も海軍省及び舞鶴鎮守府は出來得る限り救助を與へんとする方針なるも今日の場合軍艦の派遣は不可能なるべし而して視察したる處によれば船底は五六尺は礁かに砂中に埋まれるものゝ如く今機其儘になし置くと甚だ危険にして風波の場合に於て一層危険に陥らしむるの慮りあれば第一に相當の保護を與へ風波に差支なき様になし然る後荷卸をなすにあり猶本船は何等の破損なく只船の一部分に損傷あるのみなるを以て東京海上保険株式會社にても殊に經驗家森貞範氏をして實地觀察せしめ又東京なる山科海軍工業所長濱田次郎氏も來り取調中なるが結局海上保険株式會社に於て引卸すことゝなるべし云々

0746

舞鶴

保護ニ關スル法

マニラ船社

舞鶴

接セリ此旨心得

何等異議ナクシ

マニラ船社

手記  
舞鶴  
マニラ船社

五ノ富

洋服調進  
勉強之大王

越中石動町

水野洋服店  
電話 土三番

0746-2

ばい毒

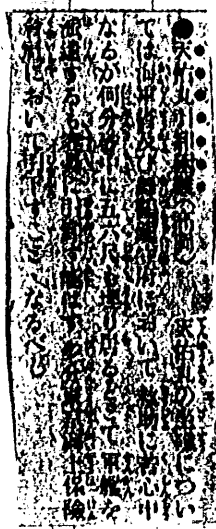
三組町八十二番地  
順天堂薬院

病原菌及麻痺菌を  
撲滅す。院長自ら  
實驗の注射以上  
の殺菌法郵分送  
付の人士無料教授



右依りて海軍省にても各省より電報を呈する者記  
載し得るに其の記者ノ誤りたりと角録記事  
依りて此地方ノ人々天祐丸曳却方ニ知れ下  
り得る十九日

一 東京其他の天祐丸曳却方ニ打電せし  
多アリとせし概シテ左ノ如クト大同少異ナリ



大阪毎日新聞(三月一日)地方電報欄より抄録  
す

一 左記事及圖而了却

一 天祐丸遭難概略記事

一 天祐丸生海位置圖

一 天祐丸右舷航行水深圖

一 天祐丸周圍水深圖

一 天祐丸維持圖

右報告ス

紙

0747-2

天祐丸遭難概略記事

二月二十日午前九時十五分伏木に投錨

錨地

(燈台方位(磁針)南十五度西  
男島方位北西四分三十四)

二當日大氣好、風雨減、異状ヲ認メスト云フ

三午後七時半天候暗黒北東ノ風起海而高浪

四七時四十二分機淵準備

五七時四十五分激速前進五十四分停止六尋ノ

所、兩舷錨ヲ投ス錨鎖三千尋燈台方位  
南々西約

六十時了風雨之聲と来ル

七十時半頃了風強執風往北に廻り北東に變ス

八十時再び松浦準備

九十時半頃俄然猛烈な風起り激浪高

り遂に右舷走錨錨鎖早五尋に延ス續

り左舷にも走錨船首に左舷に振レテ再び風

浪に向テ

(備考) 本船の錨は八十ホントナリト云フ觀教に比シテ

少し大なり又本船の構造前部外板高し風

より比較的多少高き一と風下船首

向テ再び風向に向テ下テ得サリト云フ

十、錨鎖ヲ断テ沖合ニ遊離セシト決シ舵柄左舷ニ一  
 杯ニ取リ板割ヲ應用シ錨鎖切斷中ノ至  
 ニテ操船鎖ノヒシ折指ヲ操船自由  
 ナス然レニ土時五十分頃船尾海底ニ觸ル  
 ニ至リ  
 土翌日午前一時頃燈台方位南三十度  
 東巨島三鍵ノ位置ニ擱坐セリ

0750

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

新

旬

0751

天祐在吐洲位置圖

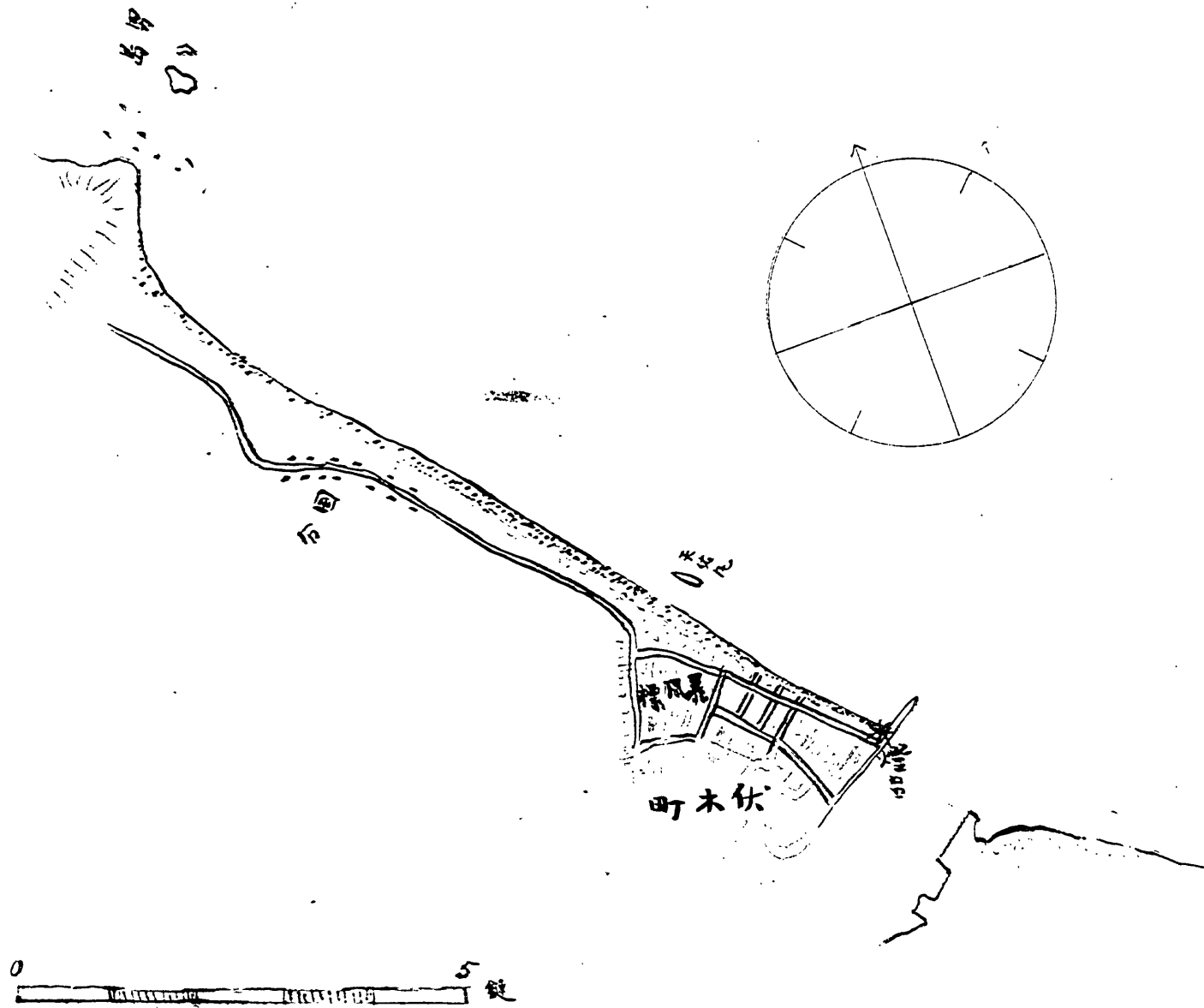
天祐在右舷前之水潭圖

天祐在周圍之水潭圖

天祐在堆棧圖

0752

天竺丸坐落位置図



0753

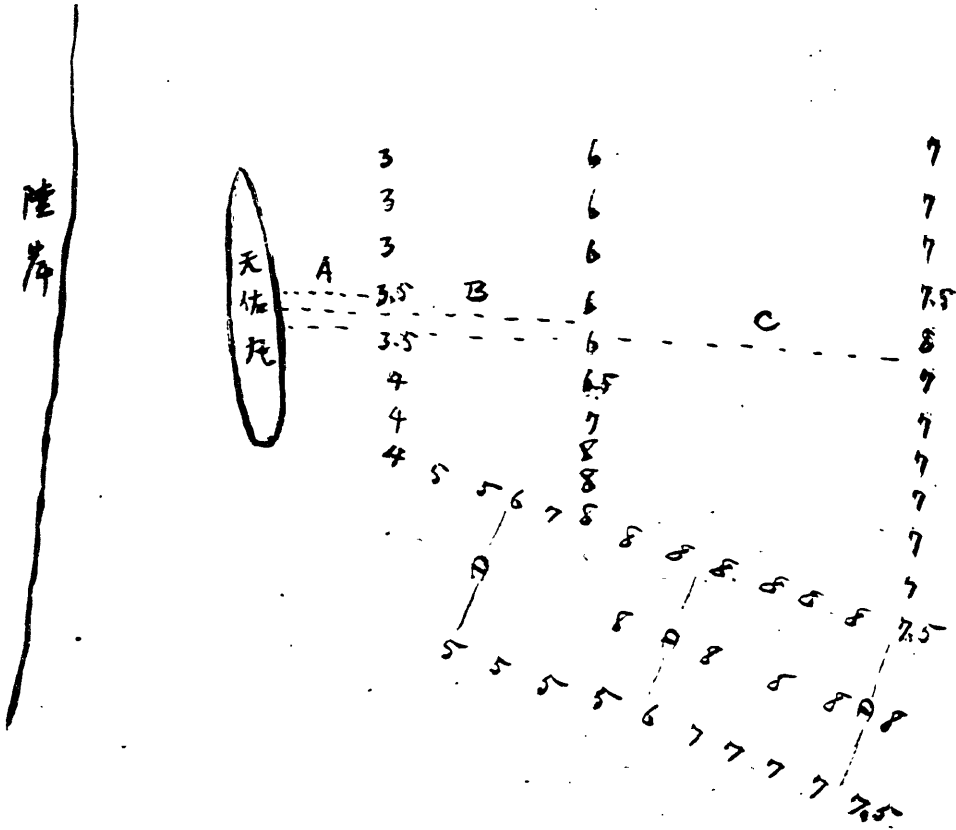


# 天佐尾右左衛門の竹ノ水潭圖

此圖ハ天佐九ノ澤ノ竹ノ水潭ハ天ノ故モ近キ位置ヲ示ス別本館ノ右舷クローギーニ當ルナリ

(注意)

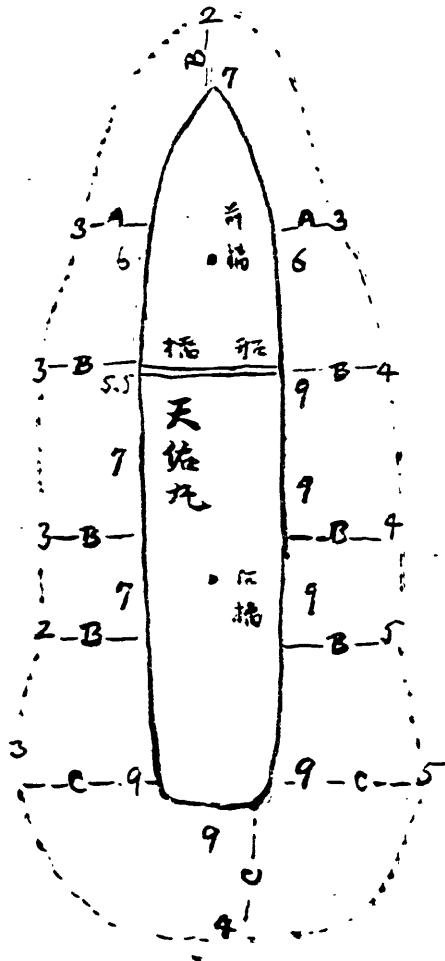
此水潭ハ浪浪激シク起リハニ及ヒスレ此圖ハ二月廿八日午前ノ現狀ナリ



A 本館中央外板ノ十間ノ巨岩  
 B 三十間  
 C 六十間  
 D 二十間

0754

# 天佐丸周用ノ水深圖



此圖ハ海峽<sup>水</sup>船体ノ周用自然水深ヲ示ス（二月廿八日午前ノ現狀）

数字ハ尺ヲ數スルニ三尺ナリ

Aハ前橋ノ巨者

Bハ二間ノ巨者

Cハ三間ノ巨者

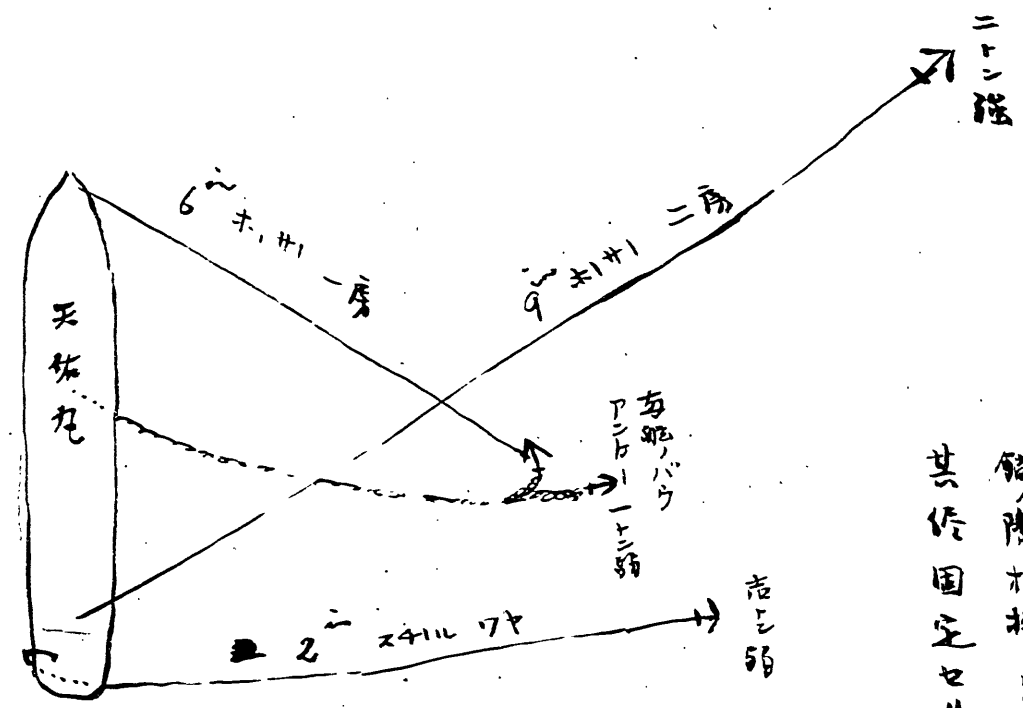
0755

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

天祐丸維持図（三月廿八日現状）



前部ノ六甲ホーサーハ船メバウアンカーヲ  
 揚ゲ目的ノ了備ノ此ニ取リタリ兩船備走  
 備ノ際相接ヒテ揚ニ容易ニ揚ラレタリ候ス  
 其係固定セリ

(備考)  
 廿八日大坂より送り來ル筈  
 ノ備及スチルワヤヲ以テ  
 猶固定スル候定ナリシ

0756

電

第三部  
第一紙

陸軍部

軍

二月廿六日電

陸軍省の官へ 横谷の官

本日四十九号、水雷艇根山洋流の  
テ水雷艇の陸軍部、  
ハウト及貴村、  
和光、  
石、  
以、  
ウセ

村

海軍

二

2-28-A  
0757

海軍省

電報

電報課

村松

海

軍

行動簿

0758

軍務部

三月三日

局長

朝日航長

會計課

會計課長

本所 午後二時半 伊豆 崎ノ南 西八 鍵三 小一 三 行

及 國上 晴 航海 危險 航

底少漏 次アリ

軍令

濟

引 通 航 航 航

3-4

3-4

3-4

3-4

電 報 送 達 紙

局 着		局 發				名氏所居人信受
取扱者	受信 午後 時分	付受 午後 時分	月 日	第 號	報	
ア ニ	モ キ コ ハ	マ ア セ ハ	ハ セ イ レ	ハ セ イ レ	報 第 一 號	カ キ コ ノ コ ノ コ ノ コ
ア ニ	モ キ コ ハ	マ ア セ ハ	ハ セ イ レ	ハ セ イ レ	報 第 一 號	カ キ コ ノ コ ノ コ ノ コ
ア ニ	モ キ コ ハ	マ ア セ ハ	ハ セ イ レ	ハ セ イ レ	報 第 一 號	カ キ コ ノ コ ノ コ ノ コ
ア ニ	モ キ コ ハ	マ ア セ ハ	ハ セ イ レ	ハ セ イ レ	報 第 一 號	カ キ コ ノ コ ノ コ ノ コ

注意 名氏所居人信受  
 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符  
 號シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ  
 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ

0759

海軍

行跡簿濟

0760

電

電款

三三三

大五

部長

大長

軍令部

第三部

第四部

軍令部

各班

水止り洋面、状況は  
 上坂先ス、接船ノ海底月没見  
 孤立ラシクニ海固以外ニ  
 能ハカリシ



各班



電報送達紙




局著		局		發		名氏所居人信受	
受信者 事務者	信年	付年	付月	第	日	報	報
2時	19	10	10	10	10	10	10
分	分	分	分	分	分	分	分
イ ス ケ ウ リ ナ コ 、 一 二 年 三 月 四 日 = 乙 廿 日 廿 日 4 4 / 1 7 又 ホ 口 7 7 廿 日 ワ 一 本 七 日 マ カ 一 日 十 テ 一 二 日 日						定指	官報
事記						番號	注意
						第	他人宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋に返戻すべし決して其取本人へ直送し又手紙へからず
						印附日局著	名氏所居人信受

製局刷印月四年十四治

0761

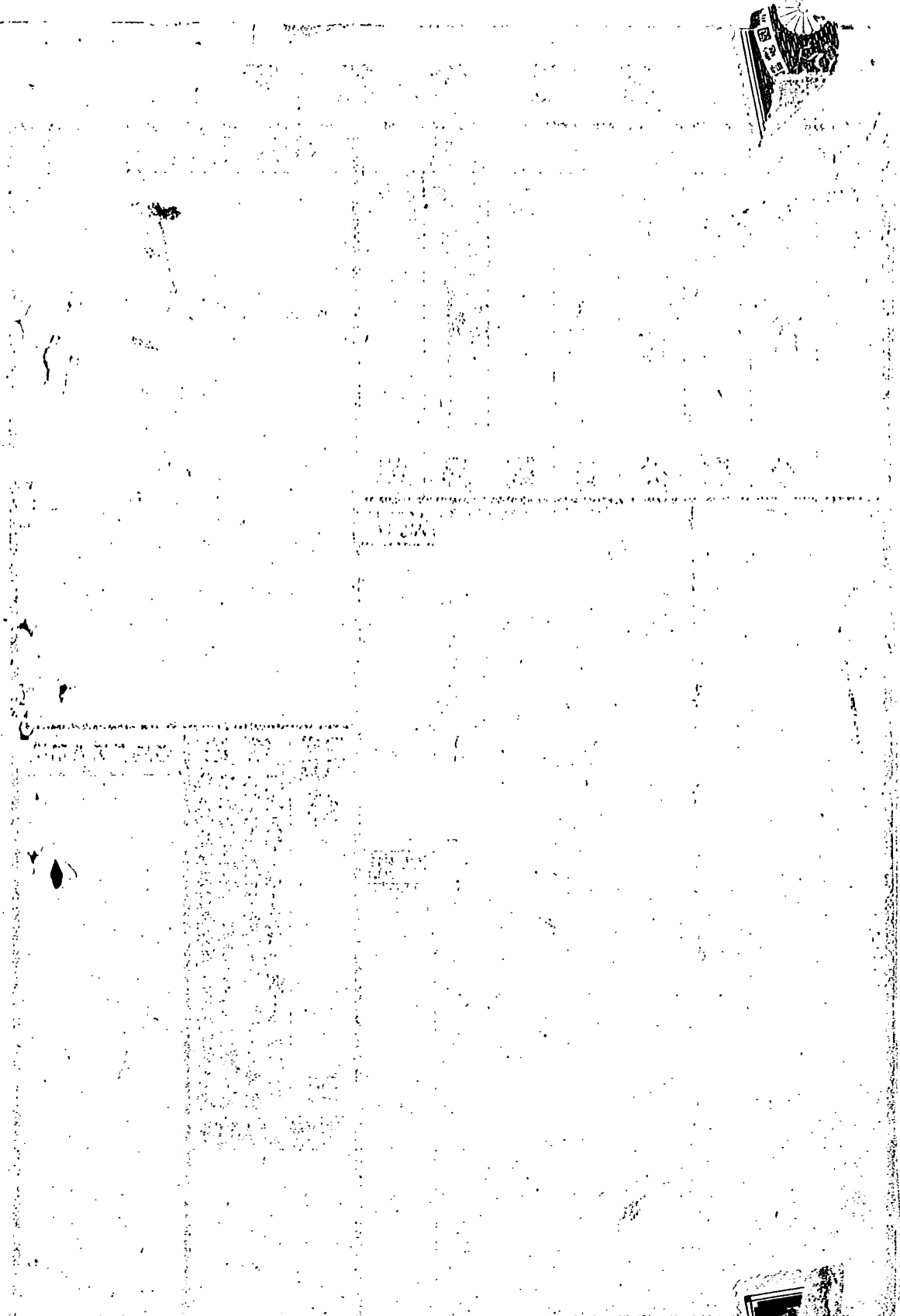


# 電 報 送 達 紙

局 著		局 發				名 氏 所 居 人 信 受			
受 信 務 著	信 受 午	付 受 午	第	月	報 局 號				
	時	時							
	分	分	日	號	局				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">ア ス サ セ</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">ル イ ス</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">ア ガ ラ キ</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">タ ニ セ</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">ア イ シ セ</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">ガ ニ ニ モ</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">リ ャ カ</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">ニ ャ イ</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">定 機</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事 記</p> </div> </div>						<p style="text-align: center;">注 意</p> <p style="font-size: 0.8em;">他人へ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋に直ち之を配達したる電信局所に返戻すべし決して其受取本人へ直送し又は手渡すべからず</p>			
						番 著 信	名 氏 所 居 人 信 受		
						第			
						號			
						印 附 日 局 著			
									

製局刷印月四年十四治明

0762



0763

政令伝

供覧

濟

三月四日

大正

津

朝日新聞

局員 手電

電報

中里

軍令部

各班

暗礁位... 津... 朝日新聞... 大正... 三月四日... 電報... 局員 手電... 中里... 軍令部... 各班... 津... 朝日新聞... 大正... 三月四日... 電報... 局員 手電... 中里...

海軍文書 三月四日

0764

七  
大  
中  
止  
と  
タ  
リ

洋  
軍

○

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0765

電 報 送 達 紙

局	着	局	發			
取扱者 受信 午後 後 前 分 分	受 午後 後 前 分 分	付 午後 後 前 分 分	第 二 九 一 號	月 日	報 局	報
名氏所居人信受 (Handwritten: 又... 氏)			(Handwritten: 又... 氏)			
定 指			(Blank)			
事 記			(Blank)			
意 注 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ			名氏所居人信發 (Handwritten: ア... 氏)			
(Large handwritten message in cipher/phonetic script)						

0766

電 報 送 達 紙

局 着		局 發					名氏所居人信受	
取扱者	受信	受信 午後 時分	付 午後 時分	月	第	報	局	報
	後前							
						定 指		
						事 記		
						意 注		名氏所居人信發
						他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋シ直ケニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ		

電報送達紙  
 受信 午後 時分  
 付 午後 時分  
 月 日 第 報 局 報  
 定 指  
 事 記  
 意 注

乙

0767

大臣 電

大臣 電

軍務局

艦隊部

第三部長

第四部長

軍令部

電 訊

大臣 電

電 訊

換 鈔 長 官

海 軍

朝日換傷ニ任キ送任少長大久保立シ  
 派遣シ取サセシシ左邊通リ相告  
 アリタリ社朝日新聞底防水区域  
 水壓試験ノ國臣二第九号ニ  
 奉入  
 三月五日送任少長大久保立シ海軍  
 工廠長官ニ文右相建セテアト第ニ

各 班

山

海

電

信

局

部

長

0768

コンチノ間長廿五九  
 一ト二コングノ間長廿九  
 ニ船底押上ノ接合部ヨリ離レ地ニ等  
 アリ本日本波荒ノ内ヨリ換蓋ノ後  
 果不當地ニテ仮工事三日掛ル見込ニ

0769



# 電報送達紙

着局		発局				受信人住所氏名
取扱者	受信	付午後	第	局	報	
シ	午後 9時 分	午前 10時 分	一	友	友	
字	分	分	日	號	報	
<p>指 定            記 事            六九ゴビウオヨビナ            ノヅビウニダイ            ケイキスイアツミケ            ウフクテイボウ            リツイテハハアハ            トヲリオウコクア            ルセタルニサキノ            口ハ 〇ニ            アハ 〇ニ</p>						
<p>名氏所居人信受</p> <p>ヨハ</p>						

0770

# 電 報 送 達 紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取 扱 者	受 信	信 受	付 受	第	報 局	報	
	後 前	後 前	時 分	時 分			
		時 分	時 分	日	號	局	報
〇) ロウニイロクナリウニ ェンモブ、カ、ス、リ、ゴ 〇、タ、テ、三、三、三、ハ 五、タ、ハ、ア、ム、シ、ア、ウ、ニ 九、ア、ト、ム、ア、テ、ヨ、ツ、キ、ウ、ハ ヨ、リ、ダ、イ、ン、テ、リ、ヒ、ウ、コ 七、ダ、イ、ン、テ、リ、ヒ、ウ、コ 五、ナ、ニ、ソ、ヨ、ハ、ア、イ						定 指	
						事 記	
						意 注	名氏所居人信發
						他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ	

0771

# 電 報 送 達 紙

局 着		局 發					名氏所居人信受	
取扱者	受信	受信 午後 前	付 午後 後	月	第	報	<div style="font-size: 2em; margin: 0;">三</div>	
		時 分	時 分	日	號	局		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">ヒ</span> <span style="font-size: 1.5em;">テ</span> <span style="font-size: 1.5em;">リ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ミ</span> <span style="font-size: 1.5em;">シ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ケ</span> <span style="font-size: 1.5em;">一</span> <span style="font-size: 1.5em;">イ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ロ</span> </div>							定 指	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">カ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ル</span> <span style="font-size: 1.5em;">エ</span> <span style="font-size: 1.5em;">テ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ク</span> <span style="font-size: 1.5em;">ワ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ス</span> <span style="font-size: 1.5em;">ハ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ニ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> </div>							事 記	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">ミ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ク</span> <span style="font-size: 1.5em;">ワ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ス</span> <span style="font-size: 1.5em;">ル</span> <span style="font-size: 1.5em;">ハ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ニ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ロ</span> </div>								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">ミ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ク</span> <span style="font-size: 1.5em;">ワ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ス</span> <span style="font-size: 1.5em;">ル</span> <span style="font-size: 1.5em;">ハ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ニ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ロ</span> </div>								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">ミ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ク</span> <span style="font-size: 1.5em;">ワ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ス</span> <span style="font-size: 1.5em;">ル</span> <span style="font-size: 1.5em;">ハ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ニ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ロ</span> </div>								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">ミ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ク</span> <span style="font-size: 1.5em;">ワ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ス</span> <span style="font-size: 1.5em;">ル</span> <span style="font-size: 1.5em;">ハ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ニ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ロ</span> </div>								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="font-size: 1.5em;">ミ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ク</span> <span style="font-size: 1.5em;">ワ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ス</span> <span style="font-size: 1.5em;">ル</span> <span style="font-size: 1.5em;">ハ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ニ</span> <span style="font-size: 1.5em;">ア</span> <span style="font-size: 1.5em;">ロ</span> </div>								

**意 注** 名氏所居人信發

他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符  
 箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ  
 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ

0772

川池と 朝日 熊防 水  
区域水ノ 減塩 園 是  
枚係付アリ 北 政 庫 下  
三 教 ノ モ ノ 三 和 感 之 意 乎  
三 乃 十 五 一  
0773

大臣

大官



軍務局

艦隊部

第三部

第四部

軍令部



大正

二月五日

櫻

櫻須野

二五

會計課長



海軍大臣

昨後午に出

朝日新聞

朝日新聞

朝日新聞

潜水艦

櫻須野

軍令部

0774





# 電 報 送 達 紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信 午後 後前 時 分	付受 午後 後前 時 分	月	第	報		
		字	日	號	局		
定 指						名氏所居人信發	
事 記						<p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符                      箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ                      決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p>	
<p style="font-size: 2em;">                         ヲ ス 4 三 ヲ イ 7 〇 ス                          セ 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇                          テ ト タ リ ト 〇 〇 〇 〇                          リ リ リ リ リ リ リ リ                          バ リ リ リ リ リ リ リ リ                          ヤ エ キ テ ユ 4 ヲ ン ヲ                          〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇                          ト 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇                          五 ヲ ツ テ 〇 〇 〇 〇                          本 ア 本 4 〇 〇 〇 〇                     </p>							

0777



電 報 送 達 紙

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取 扱 者	受 信	付 後	受 前	第		
	午 後		午 前	月		
	時		時	日	號	報
	分	字	分			
りセヲ ( ) キ ) カン 定 指 ハ ) ヲ ル ヲ 又 エ セ ( ) ハ り ヲ ト り ヲ ヲ イ ソ ケ ヲ ウ ウ 4 = ヲ ウ ヲ ハ ス ヲ ル = テ = ナ ゼ モ ヲ ( ) バ ( ) エ ヲ キ ゼ = ( ) コ コ ( ) ヒ カ ヒ ( ) ヲ ( ) ( ) ナ キ サ ウ ウ ヲ セ キ ソ 又 ( ) ヲ ヲ ヲ ス ( ) ( ) ボ ル ( ) ツ ( ) ヲ					事 記	
意 注 名氏所居人信受 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 號シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ						

0778

海

海軍大臣

第三部

軍令部

横須賀鎮守府 九十九號 一一一

明治四十一年三月八日

横須賀鎮守府司令長官 男爵上村彦之丞

海軍大臣 男爵 齋藤 實殿

朝日觸礁ニ関スル報告進達件  
一軍艦 朝日觸礁ニ関スル報告(第一面) 壹

若進達  
且日暮  
地同艦長  
提出副本

第四部長

第三部

各班

海軍

Various circular stamps and seals on the left margin, including '海軍' and '軍令部'.

東京三浦印行

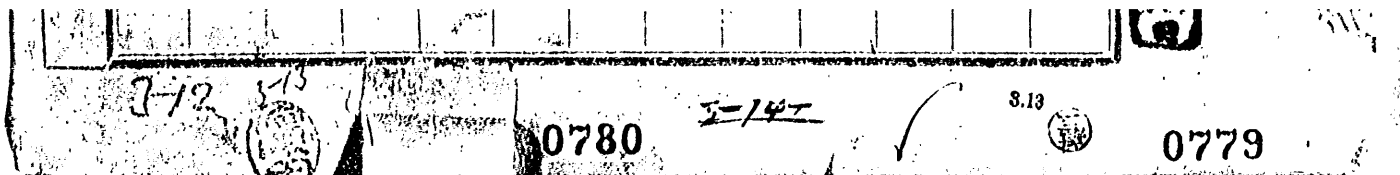
海軍大臣

0780

5-147

8.13

0779



礁位測定ノ上更ニ調査ヲ要ス  
軍務局

習機錄 二九 號 一

明治四十一年三月日 於在勢摩津沖

朝日艦長宮地貞辰

本艦觸礁之關スル件 報告第一回

一 本艦ノ航路 (附圖参照)

三月三日午前十時五十分伊勢灣津沖核錨ノ后  
 羅鍼儀自差比較ヲ行ヒ終リテ十一時三十分對  
 路ヲ南六十六度東ニ定メ伊良湖嶺端ニ向針  
 三度力八哩トス午後一時四十七分小葉海島ヲ南  
 西三四哩ニ見テ南東ノ東ニ變針伊良湖  
 水道ニ向テ斯クテ圖上ノ予定航路ニ伊良湖嶺端ヲ

約九鐘ヲ距ル一線ナトス時ニ平潮時後約一時  
有半潮流緩キ水道ニ近ツクニ從ヒ艦位ナシク左方  
ニ偏スルヲ以テ二時十分伊良湖嶺端ヲ東ニ南ニ一  
哩ニ見ル處ニ針路ヲ二度方方ニ變ニ南五十四  
度東トス而シテ本艦々位ニ間断ナリ交叉方位花ニ  
距離測定儀ヲ以テ測定セリ

二、天候風位潮流

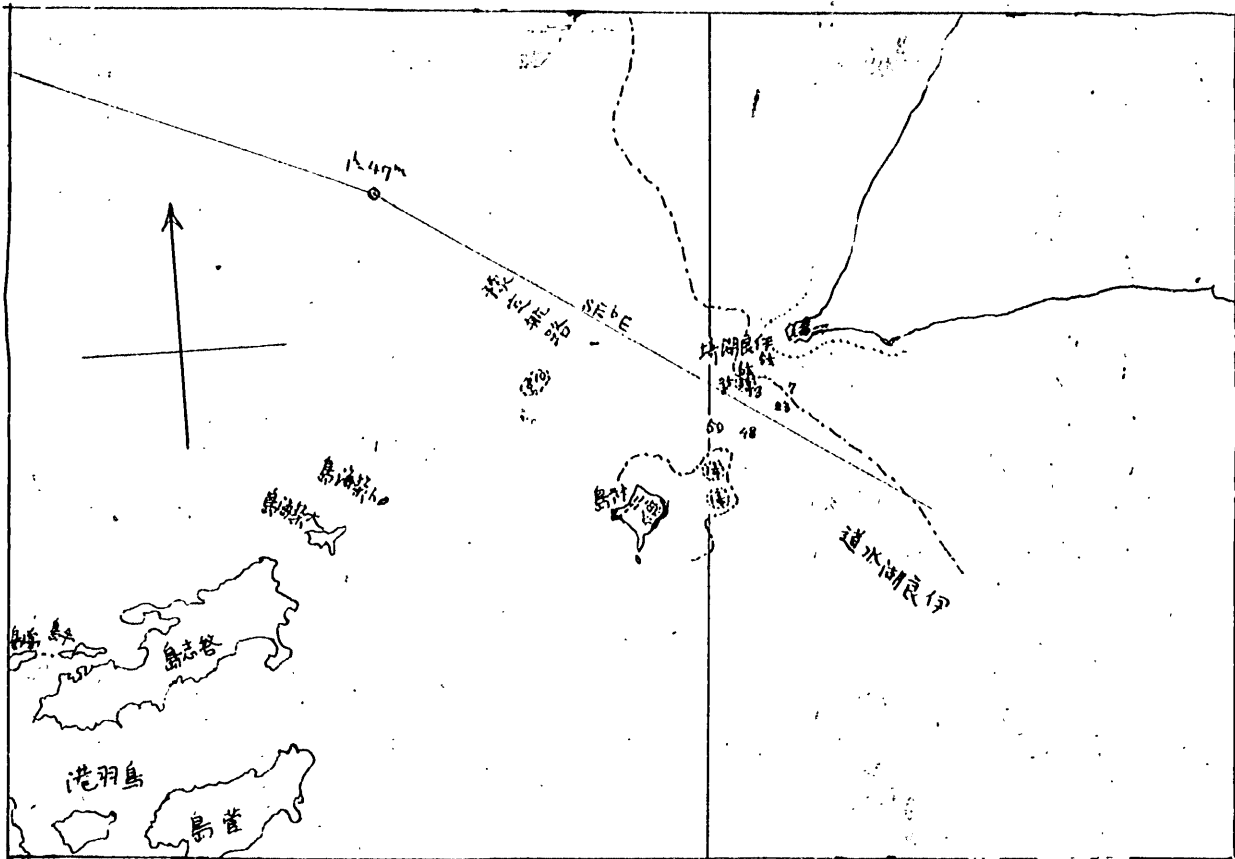
觸礁ノ際天候曇風向北西力約三潮流ニ北西方  
ニ流レ力微ナリ

三、觸礁ノ時刻位置及礁上水深

時刻、午後二時三十五分

位置、伊良湖嶺端南西距離七鐘（距離ハ「」ニシテ  
「」ニテ海岸ノ大石ヲ精測ス方位測定ハ「」

附図



0783

唯、際発令時概々失シタルヲ以テ確實ヲ保シ難シ

圖上ニ於テ左ト記スル外方十字界線附近ニ該時

礁ノ存在スルモノト認ム而シテ特ニ注意ス可キ点ハ

本艦ノ艦底右舷側ノミセニ觸レタルヲナリ

礁上水深、觸礁ノ時即チ午後二時三十分ニ於テ約

二十五呎（當時本艦吃水前部二十五呎、後部廿六呎）ヲ漸

時、於テ、尚ホ數呎ヲ減スベシト認ム又觸接部以外

ノ場所ニ在テ最淺部ナキヲ保シ難シ

#### 四、觸礁后ノ處置

觸礁ノ際ハ輕微ナル震動（二回ト覺エ）ヲ感シタ

ル、本艦ハ直チニ防水扉閉鎖ヲ令シ、同時ニ機関

後進原速ヲ令シタルモ、艦高ホ前進スルヲ以テ、同時

ニ機関停止ヲ令シ、機関ハ實際後進ニ動作セザ

リキ) 面地一杯ニ操舵セシム斯ク予艦ノ航路ニ  
 流ヲ現出セシク見テ觸礁ノ事實先ヲ信シタリ  
 本職ハ本艦ノ安全ヲ計ルニ一時成ルヘク陸岸近  
 浅所ニ碇泊シ且ツ暗礁搜索ノ緊要先ヲ認メ  
 微連ヲ以テ南東方及ヒ東方ニ碇泊シ全時ニ浸  
 水ノ摸探ヲ調査セシメ三時三十分伊良湖崎  
 ノ南東方約三哩ノ位置ニ碇泊シ「カッタ」ヲ  
 下シ航路長ヲ派遣シ暗礁位置摸見ニ從事  
 セシム其作業ノ摸探ハ別隊ハ「号航路長  
 報告」如シ  
 本艦觸礁后大玉崎望樓ヲ經テ海軍大臣及  
 陸軍大臣守府司令長官ニ宛テ「電報」及告  
 可為ス(六時三十分望樓了解)

0785



本艦午後二時半伊良湖埼(南西八鐘三分)に於て  
 海圖に記載の暗礁と觸れ通過不能俟航海危  
 険と認り津へ引揚す損害一箇可前部汽機  
 室右舷船底少シク漏水アリ  
 先是三時十分頃先任機関分隊長来り報告スラク  
 前鐘右舷側二重底ノ二區劃及中鐘前部右舷  
 側二重底ノ二區劃内ニ少シク漏水アリ  
 二重底人孔ヲ閉鎖シ排水ニ勉メツアリ  
 斯クテ本艦は信外海ニ碇泊スルノ不利ヲ信シ日  
 没ノ頃碇錨津ニ向テ伊良湖水道内ニ於テ航  
 海長ヲ收容シ雨中暗黒ノ夜ニ午後十時四十八分  
 推定位置贛崎燈台ノ東南東五哩海面  
 泊ス

0786

当夜陸岸ト交通ニ得ズキ見込ナキ以テ既  
作ノ途上大王崎ヲ経テ海軍大臣横須賀鎮  
中務司令長官ニ宛テ九ノ電報ヲ告ギおス(九時  
十八分望樓了解)

「午後十時津着漏水止マリ詳細状況ハ潜  
水検査ノ上報告ス接觸ノ海底日没迄搜索  
セシモ孤立ラシクテ海圖以外ニ発見スル能ハ  
サリシ」

備考、本艦位置事ヲ距ルテ東方約十哩以上ニテ  
カレハ高山ノ障害ニ依リ大王崎トノ通信不可能ナル  
事驗アルニ依リ故ラニ沖合ニ於テ前文ヲ電報セリ  
廿四日  
早稲船場ヲ津ニ変更スルノ豫定ナリシカ降  
雨ノお少シノ延期ニ午前八時廿分松船九時三

外津に入港ス直ニ先ノ電報ヲ告リ海軍大臣榎  
 眞賀鎮守府司令長官ニ告ス  
 略礁位置海圖ニ於テ六半ト記スル外方ニテ  
 十ヨ界線附近ナリト認ム昨日の哨ノ際ニ猶  
 告セテ電文中八鏈三分ノ約七鏈ト訂正ス昨日  
 位置搜索ニ従事セシメタルモ風波アリ且ツ日没  
 トナリテ遂ニ発見セズ中止シタリ  
 今時水路部長ニ左ノ電報ヲ送ス  
 伊良湖水道ニテ略礁発見ニシテ海軍大臣へ存  
 告シタルニヨリ其ノ位置等調査アリタリ  
 本日津投錨后直ニ外板ノ潜水検査ヲ施行  
 シ略ホ損害ノ状況ヲ知ルヲ得タリ依テ午後五  
 時四十分榎眞賀司令長官ニ宛テ左ノ電報ヲ送ス

0788

潜水器ヲ使用シテ検査ヲ行ヒシ結果損欠ハ前  
 缶室右舷ニシテ一ヶ所ハ外板ノ継目ニ於テ  
 長サ約一米突幅一三密ノロヲ削キ他ハ外板波  
 状形トナリ各所合ニテ一リバット五本脱落シ  
 居ルモ外板ニ応急修理ヲ加ヘ前缶室ニ重  
 底三匱劃ノ漏水ヲ引キ得ル見込ニテ一イ  
 ンナーボットムニ支柱ヲ加コシハ單獨帰港シ  
 得ル見込枝師ノ派遣ヲ要セス  
 注(末尾ノ技師云々ハ返電ナリ)  
 五日午前九時左ノ電報カ告ヲ指原賀鎮守ヲ傳  
 令長友ニ提出ス  
 其後右舷右罐室ニ重底ニ換所ヲ其見セリ  
 漏水ノ量ハ輕微ナルモ外板内方ニ壓入シ隔壁所

々々波状ヨロモセリ午毎東風波強ク潜水困難  
ナリ二三日出港ノ見込立タズ

五、損害ノ状況及機関部ニ關スル一

外底板破損ノ概要ハ四日午後及五日午前電

報口告セル通りニシテ其位置及状況ノ見取

圖調製ノ上旨ヲ提出ノ旨

機関部ニ關スル事項ハ別紙ホニ号機関長

報告ホニ示スガ如シ

(附圖一葉及報告ニ種添)

終

海軍

0790



別紙第壹号

航海長報告

三月三日本艦觸礁ノ后命ニ依リ暗礁搜索由午後  
 三時五十分ホ一カッターニ乘シ後泊地ヲ出發シ陸方一  
 里ニ作業セツイアル澳舟ヲ雇ヒ補助員菊野少尉  
 及艇員五名ヲ率ヒ之ニ移乘シ全所ヲ約一里  
 半ノ暗礁位置ニ向テ(澳舟ノ末ハ暗礁ノ一ノ邊  
 曉セルナラト期待セルモ彼等ハ南地ノ者ニアラスレ  
 テ我が希望ヲ充タサハリキ)時ニ天候曇風向北西  
 カ三波浪濤内ヲ龍ヒ来シ幸ニテ漲潮時十  
 リシヲ以テ幾分逆風ニ拵睨ツノ利ヲ得タリ  
 先ツ海圖ヲ集シ地物ノ切り合ニ照シ又タ六分儀  
 測角ニ杆分及儀使用ニ依リ圖上ニ我が位置

海

軍

0792

ヲホムルノ海圖上ノ諸島ニ信賴シ得ザルヲ其見  
 ニ又此圖上ノ鑿測位置ヲ現ハス「到底此  
 難キヲ信シタルが故ニ守リ唯目測位置ニ多數  
 ノ鑿測ヲ試シ一先ツ暗礁ヲ其見スル「ノ氣  
 務先ヲ感シ午右四時三十分頃多ク六時頃至  
 ル迄別張器圖ノ如ク徐行シ鑿測ヲ行フ「  
 約四十回並ニ暗礁ヲ見出ス「得ズ又鑿測ノ結  
 果ト海圖記スル所ノ水深ト略ホ符合シタリ依テ  
 案スルニ本艦ノ觸接シタル暗礁ハ一孤立岩ナルバ  
 ニ斯クテ日没後搜索事業ヲ中止シ暗夜ニ俟  
 良湖水道内ニ漂向せん本艦ニ向ヒ本艦附近ニ於  
 テ「カッター」ノ出迎フんモノヲ移乗シ七時五分帰  
 船  
 不  
 (圖面一添)  
 (終)

0793



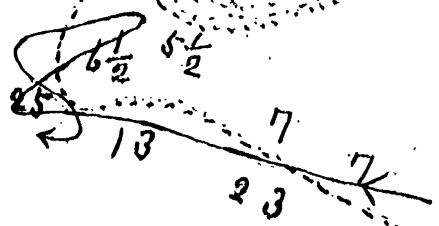
三月三日午後  
暗礁探索略圖



—— 航路探索シタ部分ヲ示ス

伊良長湖

37



伊良長湖水面



0794

別紙第二号

機関長報告 第一回

三月三日午後二時廿五分船體異常様ノ激動ヲ感ス  
 今時刻両舷機械后進原速ノ令ト今時ニ防水扉閉  
 鎖ノ令アリ由ツテ直中ニ右防水扉ヲ閉シタル后各部  
 ニ重底人孔カヲ閉キ検査セシニ前室前部前  
 室室后部及ヒ中室室前部ノ各右舷側ニ重底中  
 (別圖(イ)(ロ)(ハ)(ホ))ノ部ニ海水浸入スルヲ發見セリ由ツテ  
 直中ニ人孔戸ヲ閉シ且ツ各人孔カノ表側ノ支柱ヲ以テ  
 柳ヘタル后消防機械前名潜水機械前名ヲ以テ逐  
 次排水ヲ行ヒシニ(ハ)部ニ重底ノ海水ハ余ラズテ排  
 水シ得タルモ他ノ漏水部(イ)(ロ)(ホ)部ニ重底ノ海水浸  
 入ノ及甚敷到底排水ノ見込キテ中止シ單

毎 頁

エ内底ヲ強固ニスル由メ支柱ヲ増設シ監視ヲ嚴ク  
 セリ(ハ)部ニ重底ハ排水ヲ行ヒタル后検査スルニ漏  
 水部ハ前年室及ビ中室室バルーヘッドノ下部ニ沿フテ  
 約四呎ノ間ニあり談部ハ少許ノ凹凸ヲ呈シ漏水ノ  
 量ハ僅少ナルヲ見セリ由ツテ漏水部ニ木綿ヲ挿  
 入填塞セシムル后漏水量ハ一時約二吋減  
 ヲ増スニ因リヤナルニ至レリ

前年 中 止

(別)

		イ	
		ロ	
	ニ	ハ	
	ホ		

(ハ)部重底排水ニ係ルニ(ニ)部(三)部  
 (ロ)部(ホ)部ニ係ル上排水ス  
 ン装置ナリ

(終)